

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	L e a l e a			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 10 日 ～ 令和 8 年 3 月 30 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 10 日 ～ 令和 8 年 4 月 10 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 5 月 2 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切に し、その中でコミュニケーション力や生活動作、社会性などの 必要なスキルの習得に繋がる支援しています。	子どもたちの興味・関心を起点に活動を設定し、「やってみた い」という意欲を引き出しながら、コミュニケーションのやり とりや身辺自立、ルール理解などのスキルが自然と身につくよ う関わり方や環境設定を工夫しています。	各活動において成長をめざすスキルの明確化と職員間での共 有を徹底し、支援の質の均一化および向上を図ります。
2	発達段階や特使給に応じた個性のある支援を行い、多職種で 連携しながら多角的に子どもの成長を支えています。 また、就学を見据えた活動や身辺自立を目的とした関わりを行 なっています。	発達段階に応じて課題の難易度を調整し、成功体験が積み重ね られるよう支援しています。	多職種でのケース会議や研修を通して専門性を高めるととも に、保護者との情報共有を充実させ、家庭と連携した一貫性 のある支援に繋げていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練について、利用児童全員が参加できる工夫が出来てい ない。	避難訓練を実施する日によって利用児童が異なるため、利用日 ではない児童については訓練に参加できない状況がある。その ため、全児童が年間を通して均等に避難訓練へ参加する機会の 確保が課題となっている。	実施曜日や内容を工夫しながら避難訓練を計画し、できるだ け多くの児童が参加できる機会を設けていく。また、訓練の 振り返りや個別での説明等も取り入れ、全児童が避難時の流 れを理解できるよう取り組んでいく。
2	保護者会の実施が出来ていない。	開所して間もない中で、新規利用児童の受け入れが継続してい たため、利用児童一人ひとりの支援体制の構築や保護者対応を 優先して取り組んでいた。また、児童数や利用状況の変動も大 きく、保護者会の開催時期や実施方法の調整が難しかったこと から、実施に至っていない。	新規利用児童の受け入れや事業所運営も徐々に安定してきた ため、今年度は保護者会の開催を予定している。保護者が参 加しやすいよう開催日時や方法を工夫し、事業所での取り組 みや支援内容の共有、保護者同士の交流や相談の場として活 用できるよう取り組んでいく。
3			